

1. 研修機関について

1 事業者の名称 所在地 連絡先	学校法人 大牟田学園 大牟田市大字草木 852 番地 0944-53-5011
2 代表者名	理事長 圓佛 誠孝
3 研修の目的	少子高齢化が急速に進むわが国において、幅広く国民的教養レベルで、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得、社会福祉の理念と意義の理解、社会福祉の増進に寄与する能力と態度の育成を図る。また、高齢者や障害者へのよりきめ細やかなサービスに対応できる専門的な技術を有する人材の育成を図ることを目的とする。
4 研修施設	大牟田高校 2 号館 1 階介護実習室 1、介護実習室 2

2. 研修事業について

1 対象	大牟田高等学校総合学科 3 年生子ども・福祉系列選択者 (最大定員 40 名)
2 期間	平成 30 年 4 月 12 日より平成 30 年 12 月 5 日まで (変更の可能性あります。)
3 受講までの流れ	総合学科 1 年次に行われる系列体験授業や保護者説明会において研修の説明を行います。子ども・福祉系列選択者は受講承諾書の提出によって全員が 3 年次に受講します。 ※留意事項①受講態度が良好である。 ②公欠以外の遅刻・欠席がない。 ③課題、書類等の提出期限を厳守する。 ④定期考査で基準点を満たす。
4 費用 ・受講料 ・テキスト代 ・その他必要な経費	合計 7,980 円 (内訳)・受講料: 0 円 ・テキスト代: 6,480 円 ・実習費: 1,500 円
5 課程編成責任者	牛島 晶子
6 使用教材 (テキスト)	介護職員初任者研修テキスト (株式会社 日本医療企画 発行)
7 科目	※シラバス参照
8 修了評価	介護職員初任者研修のカリキュラムの講義・実技をすべて受講し、修了すること。 評価基準として 70 点 (100 点を満点評価とする) 以

	上を満たしたものを認定する。 70点未満のものは補講を行い、再評価を行う。
--	------------------------------------------

3. 講師情報について

※シラバス参照

4. 実績情報について

研修実施回数：各年1回

研修参加者数：第1回 平成25年度23名

第2回 平成26年度26名

第3回 平成27年度32名

第4回 平成28年度19名

第5回 平成29年度16名

5. 連絡先について

申込み、苦情その他連絡先 大牟田高等学校 総合学科 子ども・福祉系列
(0944-53-5011)

科目名	学習の内容・目標	時間数(時間)	講師名	所有資格	補助講師
1 職務の理解		6			
(1)多様なサービスの理解	これからの介護が目指すべき、その人を支えるケアの実践について、介護職がどのような環境でどういった形でどう仕事を行うか、具体的なイメージを持って実感し、研修に実践的に取り組めるようになることを学習のねらいとします。		牛島 晶子	社会福祉士 高一種教員免許	
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解					
2 介護における尊厳の保持・自立支援		9			
(1)人権と尊厳を支える介護	介護サービスを提供するにあたり、利用者の人権と尊厳を守ること何よりも大切にすべきことです。その背景となる考え方や制度、仕組みについて法律とともに学びます。また、利用者の自立に向けた、介護の重要性と意義、介護予防や重度化予防の視点について学習します。		馬場 敏彰	介護福祉士	
(2)自立に向けた介護					
3 介護の基本		6			
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	生活の支援は、利用者にかかわるさまざまな専門職や家族、地域と連携してすすめていく必要があります。そこで、地域包括ケアの重要性と介護職の役割と専門性、他職種の理解と連携の方法について学びます。介護職員は、社会的な支援を必要とする人たちと生活支援を通じて日常的に接する機会が多いため、厳しい倫理観が求められます。この他にも、サービスを提供する際に起こる事故は利用者だけでなく介護職員にも重大な問題を引き起こす事態となりうるため、リスクマネジメントの方法、安全衛生やメンタルヘルスについて学習します。		村上 有希	介護福祉士	
(2)介護職の職業倫理					
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント			塚本 真由美	看護師	
(4)介護職の安全					
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9			
(1)介護保険制度	介護保険制度の意義とその概要を行政の役割やサービス内容や利用の流れをみながら理解していきます。同様に、障害者への社会的な支援の基となる障害者自立支援制度についても学びます。そして、医療と福祉との連携について、各々のサービスや連携のあり方を大きな視点に立ってみていきます。介護職員が行える医療的ケアを理解し、リハビリテーションの役割や専門職についても併せて学習します。		牛島 晶子	社会福祉士・ 高一種教員免許	
(2)障害自立支援制度及びその他制度					
(3)医療との連携とリハビリテーション					
5 介護におけるコミュニケーション技術		6			
(1)介護におけるコミュニケーション	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることを理解していくとともに、より良好な関係を築き、心身のケアにつなげていくために必要な技術を身につけることを目指します。		河村 陽子	介護福祉士	
(2)介護におけるチームのコミュニケーション			村上 有希	介護福祉士	
6 老化の理解		6			
(1)老化に伴うところとからだの変化と日常	加齢・老化に伴う変化や疾病について、生理的な側面から理解していきます。そして、それらが日常生活動作にどのような支障をもたらしているかを把握し、どういった支援が必要かを考えていきます。		西山 博美	看護師	
(2)高齢者と健康					
7 認知症の理解		6			
(1)認知症を取り巻く現状	認知症の中核症状や行動・心理症状などの基本特性について正しく理解をし、利用者中心というケアの必要性を学びます。認知症の利用者とのコミュニケーションの原則やポイントを抑え、具体的な関わり方を身につけていくだけでなく、家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについても触れ、支援の方法を学習していきます。		西山 博美	看護師	
(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理					
(3)認知症に伴うところとからだの変化と日常生活					
(4)家族への支援					
8 障害の理解		3			
(1)障害の基礎的理解	生涯の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解していきます。各障害の内容・特徴及び生涯に応じた社会支援の考え方だけでなく障害の受容プロセスにも触れていきます。また、障害のある人の家族の心理、抱えやすいストレス、ニーズなどに対して支援を行うための専門性を高めていけるように学びます。		河口めぐみ	社会福祉士・ 高一種教員免許	
(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識					
(3)家族の心理、かかわり支援の理解					
9 ところとからだのしくみと生活支援技術		75			
(1)介護の基本的な考え方	介護が理論的、法的にどのような変遷を辿ってきたかについて理解します。		塚本 真由美	看護師	
(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解	学習と記憶、感情と意欲に関する基礎的な知識を理解します。また、自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的知識を学びます。		河村 陽子	介護福祉士	
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	生命の維持・恒常のしくみ、骨や関節、神経、各種器官のはたらきを理解していきます。		西山 博美	看護師	
(4)生活と家事	生活を継続していくための家事の重要性について学び、家事援助が利用者にとってどのような意味があるかを理解する。		磨田 歩美	高一種教員免許	
(5)快適な居住環境整備と介護	高齢者や障害者が生活する中で、住宅改修や福祉用具を利用する意味や支援を学びます。住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学習します。		本多 裕一	理学療法士	
(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	整容の必要性と、整容に関連したところとからだのしくみを理解します。そして、利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につけます。		河口めぐみ	社会福祉士	
(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	利用者本人の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術を身につけます。また、心身機能の低下が移動・移乗に及ぼす影響についても学びます。		河口めぐみ	社会福祉士	
			牛島 晶子	高一種教員免許	
(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	実際の調理実習や食事介護を通し、利用者本人の力を活用し、食事の介助を行うための技術を身につけます。また、心身機能の低下が食事に及ぼす影響についても学びます。		牛島 晶子	社会福祉士	
			河口めぐみ	高一種教員免許	
(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関連したところとからだのしくみを理解します。そして利用者本人の力を活かし、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につけます。		河口めぐみ	社会福祉士	
			牛島 晶子	高一種教員免許	
(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄の必要性と、排泄に関連したところとからだのしくみを理解します。心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解し、気持ちのよい排泄の介護を行うための技術を身につけます。		西山 博美	看護師	
			河口めぐみ	社会福祉士	
(11)睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	心身機能の低下が睡眠にお及ぼす影響について理解し、心地よい安眠を支援するための知識と技術を身につけます。		西山 博美	看護師	
			牛島 晶子	社会福祉士	
(12)死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	終末期のとらえ方を学びます。終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応について考えていきます。そして、死に直面した時の人の心理状況を理解し、こころの変化の受け止め方を学びます。		西山 博美	看護師	
			河口めぐみ	社会福祉士	
(13)介護過程の基礎的理解	介護家庭の目的と意義について理解し、展開プロセスを把握します。その中で、チームアプローチにおける介護職の役割と専門性について理解していきます。		牛島 晶子	社会福祉士	
			河口めぐみ	高一種教員免許	
(14)総合生活支援技術演習	利用者のところとからだの力が発揮できない要因や、適切な支援技術が何であるかを事例を通じて検討していきます。そして、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点について理解していきます。		牛島 晶子	社会福祉士	
			河口めぐみ	高一種教員免許	
10 振り返り		4			
(1)振り返り	研修を終了して感じたことや考えたことをまとめ、介護職が大切にすべき視点を改めておさえていきます。		牛島 晶子	社会福祉士・ 高一種教員免許	
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	自己研鑽に努めることや研修を活用しながら、より幅広い領域の専門的な知識と技術を習得していくことの重要性を説いていきます。				
11 人権学習		1.5			
(1)高齢社会をはじめとする人権問題	現在も人権と尊厳が守られていない状況があることを取り上げ、権利擁護の視点を築いていきます。		河口めぐみ	社会福祉士・高一種教員免許	
修了評価	学期毎の定期考査と終了評価試験の実施によって評価を行います。	1	河口めぐみ	社会福祉士・高一種教員免許	